



NO.1081

2016.8.14

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二、四四五八
F 四三二、四四五七

ゴミ問題を考える その2

八坂埋立処分場の供用が開始されて4年後の昭和56年には、粗大ごみ処理施設が完成し、施設を民間に委託して運転が開始されました。

ごみ減量化の取り組み

平成4年、市は一般廃棄物処理基本計画を策定し、コンポスト購入助成や電動式生ごみ処理機購入助成が開始しました。平成8年、八坂地区に新処分場用地を購入、平成10年、リサイクルセンター完成、翌年市内全域で資源物分別収集開始、平成15年古着の拠点回収・食用廃油戸別収集開始、同年9月網走市廃棄物減量化等推進懇話会から「原料化対策」を答申。平成16年10月、家庭ごみ有料化開始（各10枚入り20リットル400円、30リットル600円、40リットル800円）、現在まで続いています。

この八坂埋立処分場も平成30年で満杯となるため、明治地区に新たな処分場を造成し、平成29年4月から一部供用が開始されます。それに関連して、6月議会でごみの分別の変更、収集の変更、料金の変更が提案され、そのことで市民から大きな関心が寄せら



ダリア

松浦奮戦モ！

網走市戦没者追悼式が、10日はいはら斉場で行われ献花してきました。

追悼の言葉が3名からありましたが、ある方は「大東亜戦争」という言葉を使っていたことです。先の大戦は日本が起こした侵略戦争が拡大して、第2次世界大戦になってしまった事実からも違和感を持ちました。

そんな中、印象に残ったのは、呼人中学校の相田光咲さんの「網走市青少年平和都市友好交流事業」で、沖縄県糸満市を訪問し

た感想文でした。

米軍との戦いで約24万人以上が亡くなったこと。小さな子どもが泣くと敵に見つかると、日本兵や母親に命を奪われることがあった。ひめゆりの塔では、ひめゆり学徒隊の証言や学徒たちの写真が貼っていたが、心が痛くなり辛かった。

『どんなことがあっても、たくさん命を奪う戦争は2度と繰り返してはいけません』との感想に共感しました。

「まちづくり宅配トーク」

9日（火）駒場住民センターで日本共産党中央地域後援会は、市が提案している「ごみの新分別方式と料金改定」について「まちづくり宅配トーク」を開催しました。市担当者から「新しい分別方法

により埋め立て量は減少する。又、料金については大きな負担にならないと考えています」など説明がありました。集まった市民からは、「ごみ袋が埋め立て用とそれ以外の2種類では、間違ってしまうのではないか」「幼児や介護を必要としている紙おむつは容積も大きく、重量も重く、大変な負担です。何らかの手立てが必要ではないか」



活発な発言が続いた「網走宅配トーク」

「市のみなさんはこんなに頑張っているが、ごみの始末のほとんどを自治体や、市民に押し付けるやり方はごみ問題は解決しない。企業にきちっと責任を持ってもらうように国に働きかけてほしい」など予定の時刻が過ぎても質問意見が相次いでいました。

流氷

▼8月8日「天皇が象徴の務め難しく」と国民に向けて表明した。そしてビデオテープの中で、何度も『象徴として、又次の世代も天皇は象徴として、続けることを望む』との発言であったと思う。▼

自民党の改憲草案の中に「天皇を元首」とする一行があり、天皇も読んだのではないかと思ってしまう。戦前のように、再び天皇を神とし、平和憲法を認めずとんとんと戦争する国づくりの自民・公明の現与党につくづく反発しているようにも思える。▼昭和天皇の症状をテレビ、ラジオ、マスコミがそろって朝から「下血、下血」と騒ぎ立てた。死んでからは、色々な行事の取りやめや、神になるための祭場を何度かかけて造り、行事が終われば取り壊していた。声を上げて抗議したのは、わが党だけであつたと思う。▼この度初めて皇室典範なる物に、天皇が縛られていて、死ぬまでその責務から抜けられないとわかった。誰でも年をとりできなくなる。誰かが増え、物忘れも多くなる。人として余生を安心して送ることを、国民誰しもが望んでいる。志位委員長は「政治の責任で生前退位の真剣な検討が必要だ。日本国憲法で生前退位を禁じている」ということは一切ありません」と述べている。(K2)